

# 目的別研究会

## ◆観光力研究会

「出羽三山周辺エリアには観光資源の原石がたくさん眠っている。」

第三回の観光力研究会が十一月十五日に商工会羽黒支所を会場に開催されました。今回は十月二十三日～二十四日に三川町のいろり火の里にて開催された「産業フェア庄内2010」での観光力研究会の展示発表についての報告を行い、その後、鶴岡市観光物産課、羽黒・櫛引・朝日庁舎の観光担当課長から、それぞれが取り組む観光振興と問題・課題についての説明を受けました。続いて「効果的な観光振興を推進するための知恵と工夫」について参加した研究会会員と意見交換を行いました。

前年比一・八%増となり、観光産業に対する期待が大きくなっている傾向があるとの説明を受けました。

意見交換では、各研究会員から意見をだしていただき、特に、一貫した観光振興を推進するための体制の問題、高速道無料化社会実験に伴う問題、インフォメーションの対応等の問題が提起され、今後の観光振興策を議論しました。

どちらかと言えば、行政及び一部観光担当者だけの話し合いはありましたが、こうした様々な業種の事業者が観光振興について話合う場は少なかつたといえます。鶴岡市が合併して五年が経過していますが、未だ旧行政枠を越えられない状況に、今後、その「仕組みづくり」を検討し、スケールメリットを生かした観光振興体制を確立する必要性を強く感じました。

担当課長からは観光入り込み客数や観光推進施策、情報発信等の取組み、商工会や観光協会との連携等について、各庁舎の特色ある観光事業が紹介されました。特に加茂水族館、櫛引の観光果樹園、藤沢周平記念館、庄内映画村映画、「おくりびと」効果などがあり、観光入り込み客数は対

前年比一・八%増となり、観光産業に対する期待が大きくなっている傾向があるとの説明を受けました。



第3回産業フェア庄内2010での観光力研究会の展示ブース

## ◆農業部会

### 産業としての「農業」を目指して

産業としての「農業」の再構築を目的し発足した「農業部会」は十一月二日、第四回目を開講致しました。当日の講師はTPPに対し積極的に発言をしている庄内こめ工房社長、齋藤一志氏より「経緯と今後の課題」と題し発表を頂きました。

齋藤社長は低コスト農業を目指す「株まいすたあ」を設立するなどその動きが注目されています。今回の部会でも「米一俵の生産費を八千円以下にすれば、海外の米と戦える」

この発言に参加者の質問が集中し、戦略とマーケティングの重要性を再認識する部会となりました。

第五回目は十二月八日に要望のあった交流会（懇親会）として開催します。

## ◆製造業交流会

製造業者の企業連携を目的とした「製造業交流会」は、これまでに四回開催し、社長自らが「自社の現状と課題」について語り、参加者同士自由な意見交換を行い相互理解を深めています。

今回は十二月十四日に尙テクノ・ワイズ佐藤社長と尙ウメツマシン梅津社長が企業紹介（発表）を行います。この事業に関心のある方は是非、ご参加ください。

出羽商工会では事業主の皆さまの都合に合わせた夜間の訪問もしています。

お問合せは商工会まで  
電話番号・・・64・2130